

## 別府ツーリズムバレー構想推進協議会 令和8年度第1回総会

---

【開催日時】 令和8年5月20日（水）13:30~15:00

【開催場所】 別府市役所1Fレセプションホール

【参加者】

○委員（14名（うち1名代理））

阿南 寿和、植木 克彦、大野 洋平、岡田 航洋、太神 みどり、河野 圭史  
樹下 有斗、久留嶋 彰夫、首藤 大吾、平岡 元庸、牧 昌生、宮崎 恭平  
宮脇 恵理

（代理）藤田 裕樹（株式会社日本政策金融公庫 別府支店）

○事務局等 別府市観光・産業部長、産業政策課長 外4名

【新任委員紹介】 大野委員、岡田委員、首藤委員、宮崎委員

【議事概要】

1 開会

2 会長あいさつ

阿南会長

3 議事

（1）第1号議案「令和7年度事業報告について」

<別府ツーリズムバレー構想推進協議会の活動の報告>

- ・令和7年6月30日：第1回総会実施
- ・令和7年10月20日：金融部会実施
- ・令和8年1月28日：別府ツーリズムバレーブリーフィング実施

<別府市とB-biz LINKの取り組みの報告>

《委員より意見》

- ・別府市会社設立支援補助金、登録免許税の軽減はいいと思う。
- ・令和7年度に創設された別府市事業承継支援補助金及び別府市ソーシャルスタートアップ成長支援事業補助金について今後の広がり期待する。

- ・別府市創業支援事業補助金について、国や県、他市の状況を踏まえながらよりよい制度となるよう期待する。

(2) 第2号議案「令和7年度収支決算報告・会計監査報告」

≪監事より会計監査報告≫

- ・各委員、承認

(3) 第3号議案「令和8年度事業計画（案）について」

(4) 第4号議案「令和8年度収支予算（案）について」

≪事務局長より一括説明≫

<令和8年度事業計画（案）、令和8年度収支予算（案）、各委員承認>

#### 4 意見交換

※別府市及びB-biz LINKの事業取り組みについて、事務局、B-biz LINKより説明

≪各委員より意見≫

- ・昨年度実施した別府ツーリズムバレーブリーフィングは凄く刺激になって良かった。今年度は大学を対象に行うとのことなので大変楽しみである。
- ・別府市やB-biz LINKの取り組みは大変素晴らしいと思う。この取り組みを広く周知していくことが大切だと思う
- ・創業支援や事業承継について、いろいろやっていきたいという思いをもっており、関係機関が集まるこのような場で今後議論をできたらと思う。
- ・令和7年度に別府市事業承継連携支援に関する協定の締結を行っているが、今後、より具体的な活動を期待する。
- ・別府市版スキマバイトのマッチングサービス「べっぷマッチボックス」について、利用者の意見等は取っているのか。  
(事務局説明)  
事業者・求職者の双方からアンケートという形で意見聴取を実施している。主な意見として「別府市公式プラットフォームで安心」、「履歴書等不要で手軽に応募できてよい」

など好評の意見をいただいている。課題として、求職者が応募できる事業者の求人数がまだまだ少ない状況である。

- ・商店街の活性化にむけて、今の観光客も多い中で、ちょっと寂しいなという感じがするので、費用面など難しい点もあると思うが、空き家対策をお願いしたい。

(事務局説明)

令和7年度より「別府市空き店舗等利活用補助金」を創設し対策を行っている。また、空き店舗の所有者にアンケート調査の実施も行った。引き続き、商店街の方とも情報共有しながら各種対策を行ってまいりたい。

- ・金融機関もお金出さずだけでなく、しっかりとコンサルティング機能を発揮しながら支援する方向性である。事業者への補助制度などの情報提供やイベント等への協力など関係機関と連携して行っていきたい。

- ・事業・経営なんでも相談会や事業承継相談はどれくらいの頻度で開催しているのか。

(事務局説明)

事業承継相談会については毎月1回予約制、事業・経営なんでも相談会は毎月2回予約制で行っている。

- ・ONE BEPPU DREAM AWARDに参加させていただき、他市にはない取り組みで素晴らしい、若い力に感動を覚えた。

- ・宿泊税の導入が検討されていると思うが、事業者はシステム改修などが見込まれるが、補助や説明会等の支援を考えているのか。

(事務局説明)

宿泊税については、現在、大分県が導入を検討しており、県の方向性・決定を踏まえ、別府市としても検討を進めていく予定である。

- ・事業承継について、相談に来られる方が既に自主的に相談会に参加していたなど、確実に形になってきていると思うので、さらに取り組みを進めていきたい。

- ・地元の産業振興をしていくには、まずは地元を知ることが重要である。地元にいると気づかない点もあるので、今後、県外の方などから別府市について意見を聞ける場

などを設けていただければありがたい。

- ・他県の支店で働いてきたが、別府市は伴走支援など単発の支援に留まっていないところが素晴らしいと感じる。
- ・ONE BEPPU DREAM AWARD について、応募者が増加している一方、地元応募者が減少傾向である。前倒し周知と関係機関のネットワークを活用して掘り起こしを行っていきたい。
- ・外国人の方の起業がハードルが高くなってきており相談件数が増加傾向にある。ビザの取得であったり多岐にわたるので、関係機関の協力をお願いしたい。
- ・外国人の方や日本の若い人たちが別府に来てどのように過ごしていて、どういう事に不満を持たれているのか調査をしてもよいのではないか。
- ・新湯治・ウェルネス事業など新たなコンテンツを整備しているが、アクセス問題が考えられる。近隣市含めて、対策を考えていただきたい。
- ・別府市でスーパーアプリの開発を行っていると思うが、観光情報や温泉情報なども集約して、市民だけでなく、観光客・外国の方も活用できるようにお願いしたい。
- ・東京、大阪や福岡で就職した外国人向けの移住相談会を行っているが、別府に帰りたいという声が多。県外で就職しても、将来戻ってくるということを見据えて、長い目でずっと支援していかなければならないと感じる。
- ・留学生はインターンシップに関心がすごく高い。各機関が実施している合同企業説明会など、重ならないように連携していただき、日程周知も早めにやっていただきたい。
- ・コロナをきっかけにサービス産業の方が多く離職していった。観光客は回復してきているが、働き手が不足している状況である。別府市が実施しているスキマバイトのマッチングサービス「べっぷマッチボックス」などは大変ありがたいので、引続き各種ご支援をお願いしたい。

- ・商店街の空き店舗が多くあり、現状は屋根のある通り道になっている。託児所など市民の方が目的をもって集まるようにしていきたいと考えているのでご協力をお願いしたい。
- ・働き手の人で不足を解消するには、女性が安心して働けるように、保育士や介護士などエッセンシャルワーカーを増やしていくことが重要である。
- ・別府市には約 9,000 人の大学生が在籍している。各大学へ関係機関からの求人情報などの情報連携について今後もよろしくお願いしたい。

**【閉会】**